

授業科目 スポーツ組織論

【担当教員名】 武田 丈太郎		対象学年	3・4	対象学科	スポ
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		◎		○	
【概要・一般目標：GI0】 スポーツ現場における組織論について理解し、スポーツチームやスポーツリーグ等の具体的なスポーツ組織の事例をいくつか分析し、課題や解決方法を明らかにする力を修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 講義の目的、内容、評価について理解する。 2. 組織論の基礎理論について理解する。 3. スポーツ組織をマイクロ組織論及びマクロ組織論の視点から捉える。 4. スポーツ組織のケーススタディを分析、評価する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	講義の目的、内容（スポーツ組織論の概説）、評価方法			1	講義
2	組織論の体系（マイクロとマクロ）			2	講義
3	マイクロ組織論（リーダーシップ）			2	講義
4	マイクロ組織論（組織構成員のやる気）			2	講義
5	マイクロ組織論（意思決定と集団の行動）			2	講義
6	マクロ組織論（組織構造）			2	講義
7	マクロ組織論（組織機能、組織ネットワーク）			2	講義
8	スポーツとマイクロ組織論（スポーツチームを例に）			3	講義
9	スポーツとマクロ組織論 1（スポーツ組織を例に）			3	講義
10	スポーツとマクロ組織論 2（スポーツリーグを例に）			3	講義
11	スポーツとソーシャルキャピタル			3	講義
12	ケーススタディの分析 1（運動部活動）			4	演習
13	ケーススタディの分析 2（非営利スポーツ組織）			4	演習
14	ケーススタディの分析 3（営利スポーツ組織）			4	演習
15	まとめ			3.4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 評価方法は、レポート、毎回の小レポート及び授業への貢献度である。評価基準等は、レポート(50%)、毎回の小レポート(40%)及び授業への貢献度(10%)による総合評価とする。			【履修上の留意点】		